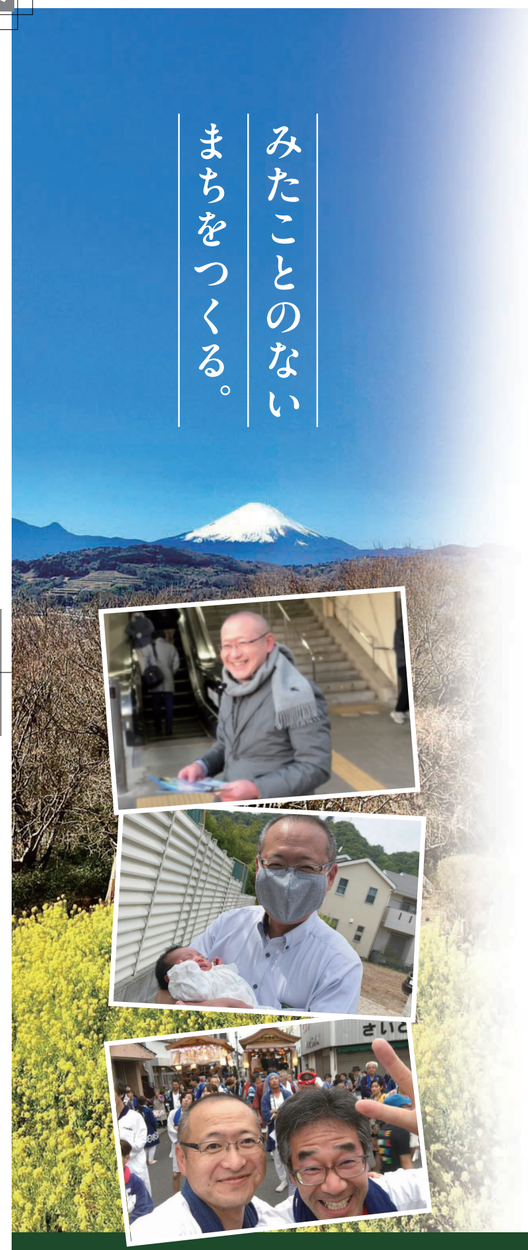
■冊子：中綴じ/綴じなし_B5_見開き2P（紙のサイズ 364 × 257 mm　仕上がりサイズ 182 × 257 mm）

天



安全な暮らしのために、家を直すこと
こどもの学びのために、環境を整えること
出産、病気、介護を支えあうこと

これは「みんなの税」によって
成り立っています。だからこそ、
貴重なお金を有意義に活用するために、
十分に考える必要があります。

一部のための散財や贅沢ではなく、
町民みんなが「良かった」と思える、
透明性があり、信頼に値する使い道へ。

私は、そうした町政に
変えていきたいと考えています。

私自身もまた、移住してきた父母の子として、
この「二宮町という家」に
生まれ育った一人です。

町民はいわば、同じ屋根の下で暮らす
大切な家族です。

一人ひとりが、町の一員として
誇りと一体感を持てるまちへ。

皆様の知識や経験を力に変え、
共に未来を築いていく。

この町での暮らしに、
価値を感じ、自慢できる
「わたしのふるさと」となるように。

その責任をすべて背負い、
取り組んでまいります。

大沼ひでき

英断

"40億円の巨額な新庁舎計画を止める!"

既存施設を活かした20億円以内の「駅前分庁舎化」で、誰もが暮らしやすい二宮へ。

私は、約40億円もの大型庁舎を新しく建設する計画を中止し、既存施設を最大限に活かして予算を半分（20億円以内）に抑える「分庁舎化」によるまちづくりを提案します。

徹底的なコストカットで生まれた財源とエネルギーを、町民の皆様の日常と未来への投資へダイレクトに還元します。

1. 公民館跡地・二宮小体育館を「駅前の顔・防災拠点」へ

公民館跡地と二宮小学校体育館部分を、県産木材を多用して改築。駅前に行政・観光・交流・防災の機能を備えた新しいコミュニティ拠点を整備します。

■ **便利な行政窓口：** 住民票の発行や各種手続きが駅前で完結。高齢者や子育て世代の利便性を飛躍的に向上させます。

■ **空調完備の安心避難所：** これまでエアコンがなかった学校体育館の課題を解決し、平時は多世代の交流場、災害時は安心して逃げ込める防災拠点へ。

■ **憩いと観光の空間：** コンビニやカフェ、小規模フードコートや清潔な駅前トイレを設置。吾妻山を訪れる観光客から、学生・高齢者・子育て世代まで誰もがふらりと立ち寄れる憩いの場をつくります。



みなさんが求めたのは二宮町らしい庁舎でした

地